



よいことの
ために
手を取りあおう



RI 会長：フランчесコ・アレツォ

2620 地区ガバナー：稲葉 雅之

会長：齋藤 高子 幹事：植山 和人 会場監督：妻鹿 政光

例会：毎週金曜日 19:00 ~ 20:00

グランドホテル浜松 〒432-8507 浜松市中央区東伊場 1-3-1 Tel: 053-450-3003 Fax: 053-450-3006

E-Mail: hamamatsu-naka@ri2620.gr.jp

2026年5月29日(金) 晴 第1733回例会 週報 NO. 33

司 会：古賀 孝幸 会場監督補佐
点 鐘：齋藤 高子 会長
ロータリーソング

「手に手つないで」
ソングリーダー 久米崇也さん
シェークハンド・タイム

ゲスト

劇団「たんぽぽ」の皆さん



劇団たんぽぽは創立 80 年を迎えます。終戦直後、家や親を失った子供たち、食べ物がない子どもたちのために、「小さくても一粒の希望の種を子どもの心にまこう」と産声をあげました。今、なかなか厳しい状況にあります。どこからも援助を受けず、一人 900 円の公演料のみで活動をしています。演劇は子どもたちの「心の栄養」です。そのための補助を今日はお願ひに来ました。

今回 80 年分の資料をまとめるにあたり、クラウドファンディングを始めました。皆様のご支援を賜れば、と思います。

80 周年の記念公演は 8 月 29 日に掛川で行います。ぜひ見に来てください。

私たちは子どもたちに「心の栄養を」をモットーに活動してきました。これからもそれを絶やさず行きたいと思っています。これからも応援をお願い致します。

会長挨拶



先ほど、劇団たんぽぽの方と名刺交換しながら、思わず「たんぽぽ」の歌を歌ってしまいました。

今日はガバナー月信からご紹介します。中村皇積パストガバナーが来週の金曜日、エンドポリオに向けたチャレンジイベントを行います。浜松から東京まで約 280 キロをロードバイクで完走を目指します。2750 地区のパストガバナーと一緒に走るそうです。これはポリオプラス基金への実績となるそうですので、できましたら、ご寄付にご協力ください。

幹事報告



- ・回覧 米山学友会会報
- ・次週は花のリレープロジェクトで 7 時 20 分、天浜線の二俣本町駅に集合です。
- ・6 月 12 日、理事会が例会前にルームであります。

スマイル

♪齋藤高子さん、植山和人さん

本日は「浜松中ロータリーのクラブビジョンを考える」です。将来像など、渥美聡一郎さん、宜しくお願いします。



浜松中ロータリークラブの クラブビジョンを考える

☆渥美聡一郎
クラブ行動計画推進委員長



今日皆さんに一番お伝えすることは、「ロータリーの行動計画」。若い方はもちろん、これから会長をやる方はぜひ知ってほしいと思います。

皆さんもどこかしらで見たり聞いたりしたことあるのではないと思いますが、この「行動計画(Action Plan)」、これがなかなか難しいです。私も、「行動計画推進リーダー」という役で話していますが、最初はよくわからなかったです。

「行動計画」の基本にあるのが

「ロータリーのビジョン声明」で、「持続可能な良い変化を生むために人々が手を取り合って行動する」というものです。その下に4つの優先的事項があります。ビジョンを実行する指針が「行動計画」と受け止めるとわかりやすいかと思います。

クラブの戦略計画を立て、その下に単年度の年次計画があるというのがRIのガイダンスです。

今日はビジョンを作るためのキーワード4種類に対してそれぞれ4つを用意しました。これを基に話し合いをしてクラブのビジョンを決めたいと思います。

今までロータリーは単年度制でしたが、その良さを生かしつつ中長期の計画も立てる状態を作りましょうということです。いろいろなクラブがありますが、なるべくなら持続可能なクラブを目指すのが今日のゴールです。

ステップ1は現状分析ですが、皆さんわかっていると思うので略します。

ステップ2はビジョンの策定です。行動計画推進リーダーは、3か月に1回程集まっているのですが、先日、中村皇積パストガバナーが用意した資料の半分くらいが、私たちが行ったアマモの奉仕活動でした。私たちは行動計画を理解していなかったのに、それに沿った活動ができていて、その活動がこの代表例に選ばれていたのです。だからもったいないと思いました。できれば皆さんの理解を深め、こういうことがある程度の継続性を持って取り組めると良いと思います。後付けにはなりますが、我々のビジョンを作り、それを説明できるようにしたいと思います。

クラブの戦略計画として持っていれば、委員会主導ではなく、クラブ主導で継続していけます。

クラブでやりたいことをやるわけですが、地域の課題に対してアプローチすることが非常にインパクトがあります。逆に、ガバナーの方針や前年度を踏襲するとインパクトが薄くなります。

一時的な活動に終わらず、地域に根付いた活動を作りたい。そこ

で活かされるのがインパクトです。成功事例として、地区は浜名湖のアマモ再生活動を取り上げました。私たちはそういうことができるクラブなのです。できれば戦略立案のプロセスを確立して単発的な寄付とか慣例的なものでなく、地域ニーズに応じたものが良い。会員も大変ですが、やれば充実感があります。この経験を活かし、3～5年の計画で一貫性のある活動があるクラブにしていきたいと思っています。

今日はこの4つの優先事項の中からキーワードを選び、クラブのビジョンを各テーブルで作っていただきます。最大4つ選んだら、AI(Gemini)の力を借りてまとめた文面にしてもらいます。キーワードは以下の16個です。

I より大きなインパクトをもたらす

- 1 地域振興、
- 2 持続可能性
- 3 地域課題の解決
- 4 共創／パートナーシップ

II 参加者の基盤を広げる

- 5 多様性
- 6 オープンマインド
- 7 次世代
- 8 多文化共生

III 参加者の積極的な関りを促す

- 9 親睦
- 10 職業奉仕
- 11 成長と学び
- 12 誇り

IV 適応力を高める

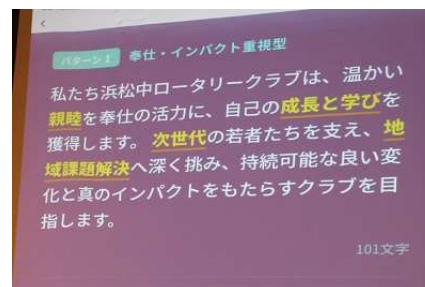
- 13 選択と集中
- 14 柔軟性
- 15 戦略的行動
- 16 共感と発信

《発表例》

1 キーワード「次世代」、「地域課題の解決」、「成長と学び」、「共感と発信」

私たち浜松中ロータリークラブは、次世代の若者たちを支え、地域課題解決へ深く挑みます。自己の成長と学びを獲得し、魅力的な共感と発信に努め、持続可能な良い変化と真のインパクトをもたらすクラブを目指します。

2 「成長と学び」、「親睦」、「次世代」、「地域課題の解決」



私たち中ロータリークラブは和気藹々とした親睦を育み、仕事に生きる成長と学びを共有します。次世代が主役となる場を作り、地域課題解決の体験を共有し、誰もが出会ってよかったと誇れる温かいクラブを目指します。

これをまとめて次回、クラブの戦略計画として発表します。



SAA 司会 古賀孝幸さん



ソングリーダー 久米崇也さん

出席報告

発表：池田浩也 出席委員

会員数	41名
出席者数	18名
出席算定会員数	36名
出席率	50.00%

前々回出席者数
28名
前々回出席率
80.00%

